

# 2019年度 生物統計セミナー

**会場** 国立精神・神経医療研究センター  
教育研修棟 ユニバーサルホール2

**時間** 18:00～19:30

**講師** 立森 久照 国立精神・神経医療研究センター  
TMC情報管理・解析部 生物統計解析室長  
丸尾 和司 筑波大学 医学医療系 准教授

**対象:** 医学研究に携わる方  
**参加費:** 一般/全8回参加:20,000円 個別参加:1回3,000円(最大20,000円)  
NCNP内/無料(お申込みは必要ございません。直接、会場へお越しください。)  
**申込方法:** 下記URLもしくはQRコードからお申込みをお願いいたします。  
<https://tmc-ncnp.smtkg.jp/public/seminar/view/101>



初めての方ももちろん、基礎から学びたい方にもびったりな内容です。  
お気軽にご参加ください。

回	開催日	演題	演者
第1回	5月9日(木)	データの特徴を把握する: データの要約とビジュアライゼーション	立森
第2回	6月13日(木)	複数の変数の関係が知りたい: 相関と因果入門	立森
第3回	7月11日(木)	一部を調べて全部を知る: 推測統計はじめの一步	立森
第4回	9月12日(木)	$p < 0.05$ がもてはやされるわけ: はじめての統計学的仮説検定	丸尾
第5回	10月10日(木)	データに直線を当てはめる: 回帰分析の基礎	立森
第6回	11月14日(木)	多様なデータで回帰をしたい: ロジスティック回帰など 一般化線型モデル (GLM) の紹介	丸尾
第7回	12月12日(木)	研究デザインのはなし: RCTと観察研究による因果推論	立森
第8回	1月9日(木)	ベイズ統計への第一歩: ベイズの定理と判別確率	立森

お問い合わせ: TMC-CRT事務局 [tmccrt@ncnp.go.jp](mailto:tmccrt@ncnp.go.jp) 042-341-2712(内線 3673)



**日時** 2019年 7月13日(土)  
9:30～17:30 (受付 9:00～)

**受講料** 一般 10,000円 NCNP 職員 3,500円

**会場** 国立精神・神経医療研究センター  
教育研修棟 ユニバーサルホール

**申込み締切・定員**  
申込み締切: 2019年6月20日(木)  
募集定員: 30名(定員になり次第受付終了)

**対象** 臨床研究の経験を持つ医師、歯科医師、看護師、  
薬剤師、理学療法士、心理士等のメディカル他

**申込み方法**  
以下のサイトまたは  
QRコードからお申込みください。  
<https://tmc-ncnp.smtkg.jp/public/seminar/view/102>



中川 敦夫先生

### Speakers

**中川 敦夫**  
慶応義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研究部門長・特任講師  
「エビデンスを創り、エビデンスを広げる: うつ病の認知行動療法」

**菅原 典夫**  
獨協医科大学 精神神経医学講座 准教授  
「臨床研究を行うというこゝろ〜テーマの作り方、情報の集め方〜」

**立森 久照**  
国立精神・神経医療研究センター TMC 情報管理・解析部 生物統計解析室長  
「臨床研究のデザインと統計学」



## NCNP臨床研究実践講座ワークショップ

(第4回 臨床研究プロトコルワークショップ)

本ワークショップは、プロトコル作成のポイントを理解し、そのスキルの習得を目指し、小グループによる演習やピアレビューを取り入れた双方向性学習により構成されます。質の高いプロトコルは、臨床研究の適切な実施、報告、外部のレビューを容易にします。臨床研究の透明性と説明責任を確保するためには、臨床研究開始前に質の高いプロトコルを作成しておくことが必須となります。本ワークショップでは、Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials (SPIRIT) にもとづき、プロトコル骨子 (Protocol Synopsis) をグループで完成させることを目指します。

**日時** 2019年10月12日(土) 9:00～18:00 (開場8:45～)

**会場** 慶応義塾大学信濃町キャンパス 第2校舎4F 講堂

**対象** 研究者・医療職の方 **定員** 35名

**受講料** 慶応義塾・NCNPに所属の方: 8,000円+税  
医療機関・教育機関・行政機関の方: 15,000円+税  
企業の方: 20,000円+税

**共催** 慶応義塾大学病院 臨床研究推進センター  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
トランスレーショナル・メディカルセンター



### プログラム(予定)

時間	講義	内容
09:00-09:35	講義	臨床研究デザイン概論 (予算・PICO/PECO, design, COI)
09:35-10:45	演習	研究テーマを決める
10:45-11:35	講義	サンプルサイズの見積もり
11:35-12:00	演習	臨床研究のコンセプトをまとめる (中間発表)
昼休		
13:00-13:15	講義	研究のfeasibilityとproject management (予算・人員・リクルート期間等)
13:15-14:15	演習	臨床研究のプロトコル、モニタリング計画書の原案を作る①
14:15-14:35	講義	モニタリング計画を考える
14:35-15:45	演習	臨床研究のプロトコル、モニタリング計画書の原案を作る②
15:55-16:30	演習	臨床研究のプロトコル、モニタリング計画書の原案を作る③(発表準備)
16:30-18:00	演習	peer review グループ発表 (presentation + discussion)

### ワークショップ内容

#### 臨床研究のプロトコル骨子を作る

- ・デザイン (sample sizeを考慮)
  - ・研究の質の管理 (モニタリング計画)
  - ・研究の円滑実施 (プロジェクトマネジメント)
  - ・利益相反マネジメント (COI)
- ※グループ演習では、各参加者が持ち寄った研究疑問(PICO/PECO)の中から、グループで1つの研究テーマを決め、そのテーマに沿ったプロトコル骨子の作成を目標とします。

#### お申込み

「受講管理システム」Webサイトよりお申込み下さい。  
URL→ <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>

お申込みサイトは左のQRコードから



#### お問合せ

慶応義塾大学病院 臨床研究推進センター教育研修事務局  
Mail: [keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp](mailto:keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp)



2020年度 Meet the Expert

## 医療分野における人工知能技術の利用と今後の課題

**日時** 2020年12月3日(火)  
17時30分～19時00分

**会場** LIVE型のWeb配信

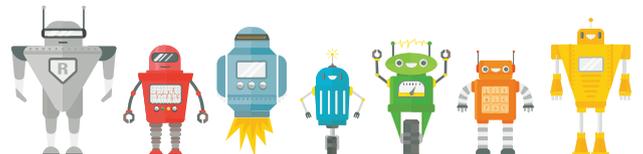
**参加費** 無料

**講師** 河添 悦昌

東京大学大学院医学系研究科  
医療AI開発学講座

医療の分野では古くからAI技術を用いた診断支援システムが開発されてきましたが、AI技術の限界が明らかとなるにつれ、このようなシステムの開発は下火となりました。その後、ICTの発展を背景に電子カルテシステムの開発と導入が進み、これが全国に広く普及するにつれて、各医療機関のデータを収集しビッグデータとして活用する動きが始まりました。近年では、ディープラーニングを始めとする機械学習技術が普及し、新たな医療技術とサービス開発が本格的に期待されている状況です。本講演では医療の分野におけるAI技術応用の歴史と、課題について話題を提供いたします。

＜お問い合わせ＞  
国立精神・神経医療研究センター  
トランスレーショナル・メディカルセンター TMC-CRT事務局  
[tmccrt@ncnp.go.jp](mailto:tmccrt@ncnp.go.jp)



2019年度 第2回  
Meet the Expert  
“英語による発表・  
プレゼンテーションのコツ”

日時：令和元年12月4日（水）17:30～18:45

- ・きちんとした手順で効果的に行われるプレゼンテーションは、研究成果の発信手段として重要です。
- ・センター職員による英語プレゼンテーションに対し、医学英語のベテラン講師が指導を行うユニークなセミナーです。
- ・国際学会等におけるコミュニケーション力の向上を目指し、初心者から経験者まで広く対象となります。



講師：Timothy Minton 先生

慶應義塾大学 教授  
日本医学英語教育学会 理事



司会：住吉 太幹 先生

精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

発表者：井上 道雄 先生（神経研究所 疾病研究第一部）

山口 創生 先生（精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部）

大久保 亮 先生（トランスレーショナル・メディカルセンター 情報管理・解析部）

参加費：無料

場 所：国立精神・神経医療研究センター 研究所3号館 セミナールーム

共催：国立精神・神経医療研究センター

国際化ワーキンググループ/トランスレーショナル・メディカルセンター(TMC)

お問い合わせ：TMC-CRT事務局 [tmcert@ncnp.go.jp](mailto:tmcert@ncnp.go.jp) 042-341-2712(内線 3673)

(外部から参加希望の方は、上記までご連絡ください)

令和元年度厚生労働省 臨床研究総合促進事業 臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム

## 臨床研究・治験従事者研修

研究コンセプト（PICO）作成のための実践的スキルを習得しよう！

日時 2019年12月7日（土）  
9：30～17：40（受付9：00～）

会場 国立精神・神経医療研究センター（NCNP）  
教育研修棟 ユニバーサルホール

医師・歯科医師  
研修参加募集！！

対象 医療機関において、臨床研究・治験にかかる業務を行なっている、若しくは今後行う予定があり、今後も継続して臨床研究・治験業務を遂行できる医師・歯科医師。研究責任者や研究分担者としての経験は問わない。なお、本研修は、臨床研究中核病院以外の医師・歯科医師を優先的に対象とする。

定員 30名 申し込み順 定員になり次第受付終了

受講料 無料

アドバイザー・講師

### プログラム（予定）

時間	内容
9:30-9:40	開会の挨拶
9:40-10:10	講義 臨床疑問定式化（PICO）とデザイン
10:15-10:45	講義 サンプルサイズの見積もり
10:50-11:25	演習 研究コンセプト（PICO）を考える
11:30-12:00	講義 Feasibleなプロトコル作成の留意点
昼休（1時間）	
13:00-13:30	講義 研究のQuality Control: データマネジメント
13:35-14:25	講義 研究のQuality Control: モニタリング
休憩（15分）	
14:40-17:00	演習 【演習】 グループワーク ・ PICOの完成 ・ 発表、質疑応答
17:00-17:30	アンケート記入・確認テスト
17:30-17:40	閉会の挨拶

- 中込 和幸 (NCNP 病院長)
- 小牧 宏文 (NCNP TMCセンター長、病院臨床研究推進部長(併))
- 大久保 亮 (NCNP TMC 情報管理・解析部 臨床研究計画・解析室長)
- 立森 久照 (NCNP TMC 情報管理・解析部 生物統計解析室長)
- 中村 治雅 (NCNP TMC 臨床研究支援部長)
- 波多野賢二 (NCNP TMC 情報管理・解析部 データマネジメント室長)
- 小居 秀紀 (NCNP TMC 情報管理・解析部長)
- 中川 敦夫 (慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修部門長・特任准教授)

お申込み ホームページ上の申込書をE-mailにてお送りください。  
<https://www.ncnp.go.jp/tmc/seminar/seminar06.html>



お申込みサイトは右のQRコードから  
国立精神・神経医療研究センター  
トランスレーショナル・メディカルセンター  
情報管理・解析部 [tmcert@ncnp.go.jp](mailto:tmcert@ncnp.go.jp)

主催：国立精神・神経医療研究センター病院（本研修は慶應義塾大学病院からの支援を受け開催しています。）

国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター 主催

## 令和元年度 モニタリング及びデータマネジメントセミナー

会場 国立精神・神経医療研究センター  
研究所3号館 セミナールーム

時間 17:30～19:00

講師 小居 秀紀 国立精神・神経医療研究センター  
TMC情報管理・解析部長  
波多野 賢二 国立精神・神経医療研究センター  
TMC情報管理・解析部 データマネジメント室長

対象：NCNP所属の医学研究者（研究責任者/医師、研究分担者/医師）及び医学研究者を支援している方

参加費：無料

申込方法：講義は申し込み不要です。実践編のみメールでの事前申し込みが必要。tmcert@ncnp.go.jp宛にご所属、お名前とともに受講希望の旨ご連絡ください。

月日	内容	テーマ	講師
2月6日 (木)	モニタリング (講義)	・モニタリングセミナーの趣旨説明 ・モニタリングの概要(監査の準備含む)	小居 小居
2月18日 (火)	データマネジ メント(講義)	・データマネジメントセミナーの趣旨説明 ・データマネジメントの概要	小居 波多野
3月5日 (木)	データマネジ メント(実践)	・データマネジメントの概要の振り返り ・データマネジメントの実践 【要予約】 (マニュアルチェック、クエリ発行・対応結果確認の実習)	波多野 波多野
3月24日 (火)	モニタリング (実践)	・モニタリングの概要(監査の準備含む)の振り返り ・モニタリングの実践(模擬プロトコル、模擬症例報告書を用いた実習) 【要予約】	小居 小居

お問い合わせ：TMC-CRT事務局 [tmcert@ncnp.go.jp](mailto:tmcert@ncnp.go.jp) 042-341-2712(内線 3673)

## 第7回 系統的レビュー メタアナリシス入門講座

日時：2020年2月8日（土）13:30～16:40（受付 13:00～）

場 所：国立精神・神経医療研究センター  
教育研修棟 ユニバーサルホール

参加費：NCNPセンター内：1,000円  
(研究生・医師・看護師・心理士・作業療法士・薬剤師など)  
一般：5,000円

応募方法：下記URLまたは右のQRコードを読み取っていただきお申込みください。  
※先着60名様まで  
<https://tmc-ncnp.smktg.jp/public/seminar/view/104>

『系統的レビュー/メタ・アナリシスの概要と実践』  
渡辺 竜雄  
京都大学大学院医学研究科 臨床疫学・社会健康医学系専攻  
健康増進・行動学分野 准教授、NPO法人 コクランジャパン 代表

『メタ・アナリシスの統計的基礎知識』  
立森 久照  
国立精神・神経医療研究センター  
TMC情報管理・解析部 生物統計解析室長

『メタ解析って大変？① ～RCTのメタアナリシス～』  
本間裕子 国立精神・神経医療研究センター 小児神経科 医師

『メタ解析って大変？② ～観察研究のメタ・アナリシス～』  
上田康博 国立精神・神経医療研究センターTMC 情報管理・解析部 流動研究員

座長：大久保 亮  
国立精神・神経医療研究センター TMC情報管理・解析部 臨床研究計画・解析室長

- ・臨床で使える強いエビデンスの構築には、ランダム化比較試験の結果を統合した系統的レビュー/メタ・アナリシスは必須です。中でも、コクラン共同計画が推進するコクランレビューがその世界標準です。
- ・国立精神・神経医療研究センターでは、コクランレビューの方法論に基づいた系統的レビュー/メタ・アナリシスの入門講座を今年も企画しました。系統的レビュー/メタ・アナリシスを実際に行うための基本を学ぶことができます。
- ・レビューを計画している研究者だけではなく、臨床現場でエビデンスとしてより深く理解したい方も歓迎しますので、奮ってご参加ください。

主催：国立精神・神経医療研究センター TMC情報管理・解析部  
問い合わせ：TMC-CRT事務局 [tmcert@ncnp.go.jp](mailto:tmcert@ncnp.go.jp) 042-341-2712(内線 3673)